



NEWS RELEASE

2018年5月22日  
チュラコス株式会社

## 両親の会社が倒産 借金取りに追われる青春 母の肌を守りたい 化粧品会社を起業

沖縄から世界へ 創業から3年目 対前年比売上 300%を目指す

沖縄生まれの自然派化粧品の企画・通信販売・卸を国内外で展開するチュラコス株式会社（本社：沖縄県豊見城市、代表取締役社長：與那覇翔）は、創業から3年目を迎え、今期売上、対前年比 300%を目指しています。

チュラコス株式会社代表取締役社長 與那覇翔（よなは・しょう）

1982年生まれ。13歳の春、両親の経営していた学習塾が倒産し、借金の取り立てに追われ、家から出られない日々と一文なしを経験。その後、父親が再起をかけ立ち上げた会社、沖縄特産販売株式会社に入社。常務取締役を経て、2016年チュラコス株式会社を起業。代表取締役社長に就任。



### ■ 安心・実感から信頼へ

当社は、沖縄の原材料を使用した化粧品の企画・販売をしています。お客様に当社の製品を安心して使用してもらい、効果を実感していただくことを何よりも大切にしています。2018年は創業から3期目となり、第二創業期と位置づけ、新商品のリリースや海外事業への参入、人の成長を軸とした働き方改革に取り組み、対前年比売上 300%を目指しています。

### ■ 事業の原点は両親

当社代表取締役・與那覇翔の両親は、幼い頃から学習塾を経営していましたが、13歳のときに倒産、負債総額も3億5千万円に上り、いわゆる「借金取り」に追われ、一文なしの日々を経験しました。その間、自身もゴミ拾いをしてお金を稼いだり、苦い経験をしたりするなど、両親の背中を見ながら、考える余裕がないほど家族総出で必死に働きました。その数年後、沖縄ブームを受けて、父親が中心となって再起をかけて立ち上げたのは、人を雇う余裕がなくても始められて、家族で経営ができること、コストを比較的抑えて運営できることから、沖縄の特産品を扱う通信販売業の会社でした。家族6人で、自宅に電話とPCを備えて、事業を開始します。両親の会社はシークアーサーージュースのヒットにより、経営が再び軌

道に乗ります。

両親が必死で働き、どん底から再起する姿、生き様に影響を受け、全力で物事に取り組むことを身につけます。

#### ■ 父親・家族から離れて

起業する前、両親の経営する会社で取り扱い始めた沖縄の海泥・くちやを使った石鹸が 80 万個を売り上げて大ヒットをおさめ、当時競合が少なかった化粧品の企画・販売事業に参入します。それ以降、業績のアップダウンを繰り返す中、與那覇の成長欲、事業への思いはますます旺盛になり、その延長線上に自力で起業したいと考えるようになります。そこで 3 年前、両親の会社から資本金 300 万円を借りて、ゼロからの起業をスタートさせました。

家族を中心に会社の経営をしていた中で、家族経営にこだわりの強かった父親からは猛反対されましたが、與那覇は家族経営ではなく、新たに従業員を雇って新しい組織を作り、両親の会社と共存していきたいと考えています。

#### ■ 母の肌を何とかしたい——化粧品事業の原点

與那覇がさまざまな苦境を乗り越えてこられたのは母親のサポートがあったからだと言います。與那覇がある日、仕事一筋でケアをする暇もなかった母を見て、しみやしわが増えていることに気がつきます。母を笑顔にしたい、その一心で開発したのが、沖縄の海泥・くちやを使った石鹸「いるじゅらさ」です。「母を笑顔にしたい」という思いから開発した商品は、累計 80 万個の販売実績を達成するヒットとなりました。母への思いから開発された商品は、今では、「人を輝かせる感動化粧品」として、沖縄から世界へ届けています。

#### ■ お客様との信頼関係がすべて——事業を通して実現したいこと〈お客様編〉

與那覇はスキンケアを中心とした化粧品の企画販売をするにあたって、安全で効果を実感していただけることを何より大切にしたいと考えています。そのために、何度も試作とモニタリングを繰り返し、自信と誇りが持てるものしか、商品化したくないと考えています。したがって、商品数は 18 点と、決して多くはありません。それは、納得できるものが開発できたときだけしか、商品化していないからなのです。

また、日本化粧品検定協会が認定する「コスメコンシェルジュ」というスキンケアの専門資格を商品開発からコールセンターのスタッフに至るまで全員が取得することを目指しています。コスメコンシェルジュとは、あらゆる肌の悩みに対して、最適な化粧品を選び出せるプロフェッショナルです。品質を理解いただき、安心して、お客様に納得できる買い物をしていただく体験を通じて、信頼関係を構築し、同士の関係になりたいと考えています。

#### ■ どんな人でも自立できるように——事業を通して実現したいこと〈会社編〉

與那覇自身の半生はさまざまなピンチと成功の繰り返しでした。このことから、社員にあらゆる局面で機

